

町長といどばたトーク！内容・概要

会場	意見等	回 答	返答者	担当課
堀松(8/3 13:30-15:00)				
1	国家100年の計というか、復興した後の町の将来ビジョンはどのようなものか。	一言でいえば災害に強い町にする。大規模な避難拠点施設を富来地域、志賀地域に1つずつ設けたい。 全国的に人口が減っていくが、減少度合いをいかに食い止めるか、志賀地域は志賀小があるが、富来地域は富来中学校周辺を避難拠点施設や子育て支援施設として一体的に整備していく。企業誘致は業種を考えて誘致したい。 100年後は想像しえないが、志賀町として存続していれば皆が幸せに過ごせるような町にしたい。	町長 企画	企画財政課
2	住民が地域に対して関心がない。人づくりが必要である。	地域で生活するにあたって何に幸せを感じるか、自分の幸福を実現するためには個々での取り組みが必要。町としては帰ってきやすいようにすることが大切。 人づくりを醸成していく。学校のふろさと教育や総合的学習の時間で児童・生徒に考えさせている。9年間を通して志賀町の将来像を学んでいく。	副町長 教育長	
3	100年変わらない、一生ここに住んでいけば大丈夫という価値観を作っていくことが大切である。	年間の出生数40人、町の体制が難しい。予算は若干年齢が高い層に行きつつある。ターゲットを整理してデータを取っていく必要がある。	副町長	企画財政課
4	学生が学べる研修の場が必要である。	富来学舎を活動拠点にしていきたい。協定を各大学と結んでいる。	企画	企画財政課
5	自分が貸している家が準半壊の判定を受け、納得できないため税務課に行ったが、対応した職員のきつい言動と対応に、大きなショックを受けた。	職員の対応にショックを受けたという点については、お詫びする。税務課に再調査の申請をしてほしい。	町長 環境	税務課
6	隣の家解体に自分の家の敷地を何の断りもなく使用された。敷鉄板もなく釘も落ちていた。(自費解体)	申し訳ない。公費解体であれば業者に隣家の了解をもらうよう指導しているが、今後もあれば環境安全課に連絡してほしい。	町長 環境	環境安全課